

筑波大学名誉教授の会会報

第13号 2008年4月発行

〈題字：中村伸夫〉

現代学生模様

佐藤 泰正

筑波大学を退職してから、すでに十数年を経ているが、その間、大学の数も大学生の数も急増した。定年後、いろんな大学で講義を行ってきたが、以前にくらべると、学生の気質もかなり変わってきている。東京教育大学や筑波大時代にくらべると、学生像もかなり変化してきていることを感じる今日この頃である。筆者の見聞したさまざまな情景、『居眠りするもの』『私語をするもの』『遅刻するもの』『帽子をかぶったまま授業に出るもの』『授業中にジュースを飲むもの』『後の授業の準備をしているもの』『授業の途中で抜け出すもの』『トイレにいったまま帰らないもの』『出席だけとって帰ってしまうもの』『出席を代筆するもの』など授業に関する問題行動はいろいろだ。子供のときに教えなければならないことを大学で教えなければならない時代なのだろうか。また、ゼミの前日になって、『サークル活動があるので、明日は出られません』というメールが来たり、卒論指導の日程をきめるのに、『その日はバイトがあるから来られません』こんなことを少しの遠慮もなく当然のことのようにいう。優先順位のつけかたもわからない。自分のことしか考えない。

こうなったのも、世の中が豊かになり、何でも望むものが手に入る時代、少子化で親の世話を一身に受けてきたためだろうか。

大学とは『学問をすることだ』とっていないようだ。大学は若者の娯楽と人間関係をつくる場所くらいに思っているのかもしれない。大学は学問の継承と発展に寄与する場所という意識に立ち戻ってもらいたいものである。

(筑波大学名誉教授の会会長・日本医療科学大学学長)



筑波大学総合実験棟 (SPEC)

新入会員から

体育科学系 高橋健夫

筑波大学名誉教授の一員に加えていただき、大変名誉なことだと思っております。筑波大学には20年間お世話になりましたが、前半の10年間は自由に研究をさせていただき、大変楽しい生活を過ごすことができました。後半の10年は、体育専門学群長、人間総合科学研究科の副研究科長、そして副学長と大変しんどい思いをいたしました。晴れて定年退職。現在は日本体育大学大学院の指導に当たっております。大学院の指導だけでよいというので、自由な時間ができると楽しみにしていたのですが、中教審の会議、学習指導要領改訂の会議、学術会議等々、外での仕事が重なり、これまで以上に忙しい毎日を送っております。何とか時間を確保してまじめに自分の研究に没頭したいと念じている次第です。今後とも宜しく願いいたします。

哲学・思想学系 河上正秀

平成19年3月定年退職するまでちょうど20年間筑波大学に籍をおかせていただきました。大学の研究体制の変遷とともに研究科長、学系長さらには専攻長として過ごしましたこともあり、計画していた研究も、不器用さゆえ随分やり過ぎてしまいました。現在は幾つかの大学での非常勤講師をしながら、そのような遅れを少しでも埋め合わせる勉強や、新たに哲学史と音楽史とをつなげる趣味的な勉強を楽しんでおります。

文芸・言語学系 鳴島 甫

現在、埼玉県越谷市にある文教大学教育学部において、国語教育学を教えております。また、ただ今進行中の高等学校学習指導要領の改訂に協力者として携わっております。筑波大学名誉教授の名を汚さぬよう、今後とも日本の教育の向上に向けて実践や研究に努めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

教育学系 山内芳文

その後は東京の（独立行政法人）大学評価・学位授与機構で大学評価の法定業務に関わっています。長年お世話になった大学への恩返しと自らに言い聞かせ、歯を食いしばっていますが、慣れない自家中毒気味の仕事で、「評価疲れ」を通り越して「評価やつれ」の有様です。いずれ遠からずそこからも落ちこぼれることになるでしょうから、そうなる筑波大学から頂戴した名誉教授の称号と博士の学位とは、まさに一生もの、まことにありがたく、そしてつくづく冥加なものと、いまから感謝しています。

社会工学系 星野靖雄

13年間勤務しました筑波大学では、12人に博士号を、56人に修士号を、26人に学士号を指導し、現在、名古屋市内の愛知大学会計専門職大学院に勤務しております。以前は、東洋大学経営学部、名古屋市立大学経済学部にも勤務しました。

昨年の会合で、学長、名誉教授の会会長等をお願いしたように、筑波大学HPに日英での名誉教授名等が掲載され喜んでおります。これからは、学術論文等でも筑波大学の名前を掲載し貢献したいと思います。

四年前に新設された北アフリカ研究センター、一年前に設置された筑波大学の第一号海外拠点、北アフリカ・地中海連携センターの担当という役割で特任教授としてそのまま大学に残り、あと一年引続き両センターの支援をすることになりました。週一回、月四回程度の勤務でよろしいとのことでしたが、新設でかつ実質的な国際交流活動が不可欠の部門とあって、学内の諸体制も整っておらず、やるべきことが山ほどあるので、毎日通っています。現地へもかなり度々出かけ、北アフリカといえば筑波大学と言われるようになればと願っております。

東京教育大学で11年、筑波大学で丁度30年、通算41年間ひたすらバイオリクター研究に取り組んで参りました。その間に4年間だけ筑波大学附属駒場中・高等学校の校長という、大学とは違った職場での仕事も経験させてもらいました。大学を退官後は、仕事を離れ、先般紹介されました勝田先生のように好きなテニスで全国大会を目指してトレーニングを積んでいます。

平成19年3月に筑波大学を定年退職し、4月から産学連携共同研究で引続き筑波大学で「天然由来の医薬品の開発研究」（と大学院生の指導）を行っております。定年退職の直前まで自分自身でも研究を行っていましたが、講義と会議から解き放された今、好きな研究に没頭でき、充実した日々を送っております。最近のトピックとしては、1990年に提唱した「植物の運動のメカニズムに関する Bruinsma-Hasegawa 説」が高校の生物の教科書に掲載されているということです。

「マテマティシャンズワイフ」という言葉をご存知ですか。数学者は家で仕事をする人が多いから、数学者の奥さんは友達ができにくい、ということから、友達の少ない奥さんをこのように呼ぶのだそうです。私も数学者の一人ですので、家で仕事することがほとんどで、大学へ行くのは授業や会議の時だけでした。もちろん、管理職のときは例外でしたが。ですから、定年になったからといって、生活が一変することはありません。相変わらず、家において、雑多な仕事をしています。専門の倫理学についても、ある程度まとまった仕事のできたので、それで、卒業しようと思ったのですが、またまた、いろいろなアイデアが湧いてきて、当分卒業はお預けのようです。

社会資本整備に不可欠な材料であるコンクリートを対象にし、その耐久性を初めとする性能向上、素材への産業副産物の有効活用、構造欠陥を提言させる施工法等の研究を行ってきました。昨年に創設されたコンクリート構造物診断士の試験に運良く合格しましたので、これと技術士（建設部門）の資格を生かし、社会資本のアセットマネジメントに関するNPO法人を本年中に立ち上げるための作業を行っています。

定年を迎えても、リーダーとしてCRESTプロジェクトは最終仕上げで目標の「フルーエンシと名付けて頂いた情報理論の構築とそのマルチメディアシステムを世界標準とする」に向けて頑張っております。そして今年から総務省NICTの新世代ネットワークの構築が開始され一生一仕事に没頭させてもらえます。

在職中の完成が間に合わなかった共著の電磁気学演習書が、今春、出版の運びとなりほっとしています。年に一度、企業人を対象にレーザーパラメータの測定に関する講義を行うことで僅かに社会とつながっている状態です。日頃、通信講座「書道」の提出課題と取り組み、詰将棋を解くこと、読書などで時を過ごしていますので、今後、機会をつくって身体を動かし、高齢者の仲間入りに備えたいと思っております。

体育科学系 高松 薫

筑波大学では、健常者や競技者の体力トレーニング法に関わる教育研究に取り組んできました。また、体育科学系長、人間総合科学研究科長として貴重な経験を積ませていただきました。ありがとうございます。昨年4月からは、龍ヶ崎市にある流通経済大学スポーツ健康科学部に務めています。本学部は2006年に新設されたばかりなので、今は教育研究体制づくりが大きな課題です。今後ともよろしく願います。

体育科学系 永井 純

筑波大学には昭和51年（1976年）から31年間お世話になりました。在職中は専門の陸上競技コーチ論の研究と実践に明け暮れておりました。お蔭様で、日本記録樹立者、ユニバーシアード、アジア大会等の国際大会でメダル獲得者などを育てることができました。また、修士課程長、体育専門学群長など務めさせていただきました。全学の先生方から暖かいご支援を賜り楽しい時を過ごすことができました。現在は、2007年4月に岡山市に開学した環太平洋大学に体育学部長として勤務しております。高校時代まで過ごした故郷で、新設大学を発展させることはもちろん、岡山県の体育・スポーツのために寄与していきたいと願っております。

体育科学系 福原祐三

筑波大学には、昭和51年から32年間の長きにわたり大変お世話になりました。意欲溢れる学生諸君と切磋琢磨し、バレーボール一筋に過ごせたということもひとえに皆様の暖かいご指導とご厚情のたまものと深く感謝いたしております。また、退官後も名誉教授として再び迎えていただき大変ありがたく思っております。現在、つくば市内の自宅にて妻や多くの孫、家族に囲まれた生活を満喫しております。どうぞ宜しくお願いいたします。

基礎医学系 長島泰夫

文部科学省一筑波大学先端研究施設共用イノベーション創出事業〔産業戦略利用〕のコーディネーターをしております。研究基盤総合センター応用加速器部門の更なる発展に少しでも寄与できればと願い、微力ながら本部門を利用される産業界の方々と楽しく事業にあたっています。32年間お世話になった筑波大学に未だ片足を残した状態から、来年は、ゆっくりとした時間を作り、引退人生を楽しみたいと考えております。

図書館情報学系 都築正巳

幸運にも筑波大学名誉教授の肩書での定年を迎えることができました。私の専門分野はドイツ文学で、特にゲーテを中心に研究してきたので、定年後は日本ゲーテ協会の常任理事として、ゲーテ賞委員会に所属し、若い研究者の育成に努めております。早起きを心がけ、午前中は読書、午後は散歩とクラシック・ギターの練習、週に1回は社交ダンスを楽しみ、結構多忙な余生を送っております。

筑波大学名譽教授の會會報 “TOPICS”

今号では、最近の筑波大学での出来事の一部を写真により紹介します。



文化勲章受章者「中村晋也先生」が岩崎学長を表敬（2008年2月）



附属図書館（2F）にコーヒーショップが開店（2008年3月）



満開のしだれ桜（後方は総合研究棟A棟）（2008年4月）



筑波大学特別講義—大学と学問—で講義を行う岩崎学長（2008年4月）



田植え体験（農林技術センター）（2008年4月）



新緑の大学構内（サッカー場付近）（2008年4月）

訂正のお知らせ

前回発行（第12号・2007年4月）の『新入会員から』中、次のとおり誤りがありましたので、お詫びして訂正します。

頁	行	誤	正
3	下から9行目	福岡市にある九州経済大学	福岡市にある九州産業大学
4	上から8行目	いくつ	いつか
々	上から19行目	マメゾウリムシ	マメゾウムシ
6	上から3行目	新設されたました	新設されました
々	上から8行目	「環境バランス」して	「環境デザイン」
々	上から14行目	東京大学・史料編纂所・前近代 日本史情報国際センター	東京大学史料編纂所前近代日本 史情報国際センター

編集後記

新しく筑波大学名誉教授になられた諸先生と懇親のきっかけになるよう、自己紹介の一文をお願いしたところ、ほとんど全員の方々にご協力いただいた。ご都合でお書きいただけなかった会員の方には、次号でよろしく願いいたします。

さて、2008年は、オリンピックにちなんで新しく完成したドーム式体育施設の正面図を掲載した。筑波大学名誉教授の一員としても、若い後輩たちが良い成績を上げてくれることを期待したい。

筑波大学名誉教授という名称は生涯続くだけでなく、学内では現職の筑波大学教授と同等の地位を与えられるのは誠に喜ばしい。指定の駐車場も大学会館との関連で利用可能であり、また、大学図書館からの貸出しも「冊数10冊、期間3週間、更新回数3回」で可能である。その上、大学会館がリニューアルされ、大学の歴史やノーベル賞受賞者の方などの業績が展示されている「筑波大学ギャラリー」、その隣には「総合交流会館」も新しく出来上がったことは、母校との距離を一層身近なものに感じさせてくれる。

（会報担当：朽堀申二・島岡 丘）